

## 皆様のご協力を得て順調に運営

NPO法人 タウンサポート鎌倉今泉台理事長 丸尾恒雄

平成30年度も決算の時期と成りました。NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台として発足後3年7ヶ月、皆様のご協力を得て順調に運営することが出来ております。詳しい報告は2019年5月26日(日)に開催予定の第4回定時総会で報告させていただきます。

4月1日より4期目に入りますが、また年会費をお願いする時期と成り近く皆様に会費納入のご案内を差し上げますので宜しくお願い申し上げます。

皆さまの憩いの場

**いずみサロン**

**水・木・金・土  
カフェオープン**

午後1時～4時



散歩の途中にどうぞ

## ■全国リビングラボネットワーク会議

～NPO TSKIが開催に協力

3月15日(金)、年に1回の全国リビングラボネットワーク会議が鎌倉市のKOTOWA鶴ヶ岡会館で行われました。リビングラボとは前にも書きましたが産学官民が一体となり「生活者が主体となってより良い暮らしのためのサービスやものを作り出す活動」です。国内には約30のリビングラボがありますが、今泉台を中心とする「鎌倉リビングラボ」は先駆的また本格的なリビングラボとして全国から注目を集めています。この鎌倉リビングラボは東京大学(高齢社会共創センター)が全体の調整を行い、TSKIが東京大学から参加者の募集や場所の設営等の実務を委託されています。今回のネットワーク会議には日本全国のみならず韓国からの参加者もあり、約100名の大学、自治体、産業界、マスコミ



パネル・ディスカッション

関係者が集まりました。会議では主に現在のリビングラボの現状報告、これからの課題等のパネル・ディスカッションが行われました。この会議ではTSKIの役員5名が会場設営、受付、参加者誘導、後かたづけ等の役割を担当しました。また鎌倉リビングラボが行われている今泉台を視察するツアーを設けたところ32名に参加いただき、鎌倉リビングラボが実際どの様に運営されているか、NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台が何故設立されたか等の説明をいずみサロンで行いました。参加者からは今泉台の取り組みが大いに参考になったとの感想が多数聞かれました。(青木)

## ■TSKI 会員拡大キャンペーン 23名様が入会

「すべての世代が住み続けたい街づくり」を目指し立ち上げた、NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台ですが、設立3年を経過し更に活動を充実させようと、本年2月～3月今泉台全住民の皆様に参加を呼び掛ける会員拡大キャンペーンを展開。新規会員募集のチラシを2000枚作成し、町内会便りと一緒に全戸配布を致しました。またNPO役員、会員の皆さんも周囲に積極的に入会を呼び掛けるプロモーションを展開。3月30日現在で正会員3名様、賛助会員20名様が入会されました。この活動には終わりはありません。今後も機会を捉え入会の呼び掛けを続けて行きましょう。(吉川)

## ■悪天候の中「春の今泉台マルシェ」開催 ～苦戦するも、何とか形を付ける

冷たい小雨降る3月23日朝、予報は曇りということで「春の今泉台マルシェ」開催。オープンの11時には雨も止み、予報通りこのままいくのでは、と思いきや何とアラシが降るやら、また雨になるやら。省力のため張らないはずのテントを、結局張ることに。

かくして、悪天候の中のマルシェとなった。売り場の皆さんかじかんだ手に息を吹きかけながらの販売も、人出はまばら。それでも会員の皆さんに窮状を訴える当日のメールの効果もあり、来て下さる方もチラホラ。何といてもこの天候、人気は「山形芋煮鍋」！完売。これに続くのが「焼き芋」。他方ビール、ジュースなど冷たい飲料はさっぱり。でもこれは5月文化祭マルシェで売れる。関係者中心にある程度はけていた弁当だが午後になってもかなり残り、終わってからNPOメンバーでこれを肴に宴会？と覚悟！しかし2時から各班長会出席者目当てに、町内会館玄関口に売り場を移し関所？を設けたのが成功、やっと完売。そのほか花、和菓子、鶏唐揚げなどなど関係者の協力で何とか完売、形が付いた。ということで春の今泉台マルシェは幕を閉じたが、終わったとたん天気は回復！（吉川）



売り場でも芋煮で暖をとる

## ■第1回NPO会員向けJAZZコンサート開催～90名が昔の曲などを楽しむ



NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台会員向けJAZZコンサートが2019年2月23日（土）今泉台町内会館大ホールで開催された。出演はムーンライトオーケストラで総勢16名の本格的JAZZバンドとして1987年11月に誕生し以来30年余り鎌倉市を中心にアマチュアバンドとして活躍されている。当日の曲目は、マイ・ファニーバレンタイン、パリの四月、童謡メドレー、植木等メドレー、等本格的ジャズから日本の名曲をジャズ調にアレンジしたものまで約50分間演奏して下さり、観客約90人が昔に帰り大興奮しアットという間のひと時でした。（丸尾）

## ■今年もシイタケ自家栽培イベント ～40数名参加

2月24日NPO（TSK1）菜園グループでは、2年前に実施し好評だったシイタケ自家栽培イベントを今年も行いました。同時に暖かい甘酒Caféもオープン。天候に恵まれ親子家族を含む40数名が参加、今泉の伊藤会員（市議）の前庭で楽しく植菌作業（しいたけ菌をホダ木に埋め込み作業）をしました。

事前にホダ木に穴をドリルで空ける練習をしていたので、当日は約45本の植菌作業はスムーズにできました。伊藤さんからシイタケが育つ過程の説明があり、子供たちはたのしそうにシイタケ菌をホダ木に金槌で打ち込んでいました。うまく管理すれば、秋頃にはシイタケが生えてくるそうです。シイタケは林の中が理想の環境だそうです。日陰で水をやりながら、大きくなるのを待ちます。こうした事から自然を大切にする心が育つことも期待されます。来年以降も定期的に関催する予定ですので、今年予約の漏れた人も来年申し込んでください。最後に準備段階からいろいろ協力いただいた皆様に感謝いたします。

（田中）



ホダ木にシイタケ菌を打ち込む